

整形外科専攻医研修カリキュラム

I 研修目標

整形外科領域における診察に必要な知識, 技能を身につけ適切な診断, 治療を行える。
日本整形外科学会専門医になるための必要な技術, 知識を身につける。
研修医や医学生に対して適切な指導ができる能力を養う。
チーム医療を理解し, 他の医療メンバーと協力, 協調し患者の QOL を考慮した医療が行える。救急医療における整形外科疾患の初期対応ができる。

研修内容

(1)1 年次

基本的診察ができ, 正確な理学的所見がとれる。
関節機能評価, RA の診断及び評価, 筋力テスト, 神経学的所見
適切な検査の選択ができ, 結果を解釈できる。
MRI, CT, 膝関節造影, 肩関節造影, 股関節造影, 脊髄造影検査, 神経根ブロック etc.
救急者の病態を, 迅速に判断し適切な初期治療ができる。
関節脱臼の徒手整復, 肘内障の整復, 骨折の非観血的整復, ギプス, シャーレ固定, 直達牽引, 頭蓋直達牽引, 特殊な介達牽引, 直達牽引, 開放骨折の救急処置。
基本的外傷疾患の手術的治療の判断及び手技ができる。
プレート固定, 髄内固定, スクリュー固定, 人工骨頭置換術, 経皮的固定, 創外固定, 神経血管縫合, 腱縫合, 切断術, 浸潤麻酔, 腰椎麻酔, 伝達麻酔 etc.
基本的な慢性疾患の診断, 治療ができる。
人工膝関節置換術, 人工股関節置換術, ヘルニア摘出術, 頸椎前方固定, 腰椎後方除圧, 頸椎後方除圧, 神経剥離, 骨切り術 etc.
高齢患者の慢性疾患, 外傷疾患の管理の要点を理解し, リハビリテーションと在宅医療, 社会復帰の計画立案ができる。
指導医, 他科または他施設にゆだねるべき問題がある場合に, 適切に判断し必要な記録を添えて紹介, 転送することができる。
脊髄損傷患者, 骨盤骨折などを含む多発外傷患者, 高齢患者の全身管理を行い治療の計画立案ができる
学会, 地方会, 研修会に参加し発表する。症例発表を行い論文に掲載する。

(2)2 年次

から の復習と不足分の補充

に関しては, 粉碎骨折や関節内骨折, 脊椎椎体骨折など高度な技術を必要とする手技

(3)3 年次

から の復習と不足分の補充

に関しては, 先天性白蓋形成不全や外反膝 etc. の高度な技術が必要とする手技

週間スケジュール

	日	月	火	水	木	金	土
午前	回診	抄読会	外来	回診	手術	手術	回診
午後		外来 カンファ レンス	手術	整形外科 回診 リハビリ カンファ レンス	外来	手術	

評価項目

目標とすべき到達度

実際の到達度

病棟診療（入院患者の診療、治療方針を決定する）

病歴の把握	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
診療、理学所見の採取	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
カルテの記載	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
術前術後管理(全身管理のための検査、治療)	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
手術適応決定(病状把握と予後の予測)	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
病状把握（術後経過観察、問題点の把握）	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
病状説明（親切、平易、的確な説明）	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
後療法（リハビリの指導管理、整形外科的術後管理）	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
コミュニケーション(患者さんとの信頼関係の構築)	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
コミュニケーション(コメディカルとの信頼関係の構築)	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
病棟診療全般として	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5

外来診療（外来患者の診療、治療方針を決定する）

病歴把握と診察	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
単純X線の読影	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
CT、MRIの読影	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
間接穿刺（各関節の確実な穿刺）	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
間接造影(各関節の造影、読影)	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
的確な病状説明	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
保存的治療（投薬、理学療法の指示等）	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
骨折脱臼の初期治療（整復、牽引、ギブス固定等）	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
外来診療全般として	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5

各種手術

外傷

一般創処置	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
手の外科的創処置、救急手術	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
開放骨折を含む創処置、救急手術	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
脊椎骨折、脊椎損傷の救急処置手術	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
骨髄等重度複合損傷の救急手術	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
切断指肢再接着	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
外傷全体として	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5

脊椎

頸椎前方固定術	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
頸椎椎弓切除術、形成術	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
腰椎前方固定術	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
腰椎椎弓切除術	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
脊椎インストゥルメンテーション手術	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
顕微鏡下手術	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
硬膜内手術	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
脊椎全体として	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5

股関節、大腿骨

大腿骨頸部骨折観血的整復固定術	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
大腿骨頸部骨折人工骨頭置換術	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
大腿骨骨幹部骨折観血的整復固定術	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
臼蓋形成術 (shelf、Chiari、RAO etc)	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
大腿骨骨切り術	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
人工股関節置換術	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
股関節、大腿骨全体として	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5

膝関節、下腿骨

関節周辺骨折観血的整復固定術	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
関節鏡	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
鏡視下半月版手術	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
鏡視下滑膜切除術	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
鏡視下靭帯再建術	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
高位脛骨骨切り術	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
人工膝関節置換術	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
膝関節、下腿骨全体として	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5

足関節、足部

アキレス腱縫合術	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
足関節周辺骨折観血的整復固定術	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
踵骨骨折観血的整復固定術	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
外反母趾手術	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
足関節、足部全体として	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5

鎖骨、肩関節、上腕

鎖骨骨折観血的整復固定術	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
上腕骨骨折観血的整復固定術	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
肩腱板断裂手術	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
反復性脱臼手術	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
鎖骨、肩関節、上腕全体として	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5

肘関節、前腕

肘関節周辺骨折観血的整復固定術	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
小児上腕骨顆上骨折観血的整復固定術	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
尺骨神経剥離術	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
前腕骨骨折観血的整復固定術	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
肘関節、前腕全体として	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5

手関節、手

腱鞘切開術	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
正中神経剥離術	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
腱縫合術	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
神経縫合術	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
重度外傷手術	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
マイクロ手術	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
手関節、手全体として	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5

臨床研究、学会発表、論文執筆等

臨床研究 (follow-up study 等)	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
学会発表	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
論文執筆	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
学会、研究会出席の機会	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5